

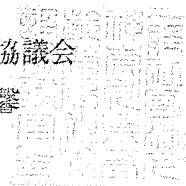
# 要 望 書

令和4年7月26日

神奈川県知事 黒岩祐治 様

一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会

会長 加藤 馨



暑中の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

神奈川県におかれましては、高齢者福祉の向上に日々取り組みいただき、高齢者福祉向上に携わる本会といたしましても、大変有り難いことと感謝しております。

さて、年初のガソリン代の値上げは社会的問題となり、国による大規模な支援が実施されているところです。最近では、食料品の相次ぐ値上げが広範囲に行なわれ、また、電気、ガスなども値上がりをしております。

これらの値上げが高齢者福祉施設の経営に大きな影響を与えることから、本会で実態調査を行ったところ、その結果は別紙のとおりです。

電気使用量はこれから暑い日を迎え空調使用に益々増えることが予想される場所ですが、各施設の電気料金は調査時点で前年に比べ 130%を超えています。ガスは入浴や食事の提供に欠かせない燃料ですが、これも前年に比べ 130%を超える支払額となっています。ガソリン代や灯油、重油代についても、120 %を超える施設もあります。食事を通して利用者の健康や生活の充実のため必要となる食材料費についても 110 %を超える状況です。

各施設では、それぞれについて節約の徹底や仕入の見直しなどを行っていますが、値上げ幅を吸収することが出来ないのが現状です。

収入のほとんどを介護報酬に依存する特別養護老人ホームなどの高齢者施設を始め、軽費老人ホーム、ケアハウスは契約による入所とは言え、入所者の現状を鑑みると入所費用を値上げすることは非常に困難であります。

従って、諸経費の値上分は施設の負担とせざるを得ない状況となっております。しかしながら、本協議会で実施した「特別養護老人ホーム経営実態調査（令和2年度実績）」によると、収支差額は全体平均 0.74 %で毎年漸減しており、その内訳を級地別にみると5級地を除く全ての級地が赤字となっているのが実態です。

また、新型コロナウイルス感染症の感染予防のために必要な換気設備などの諸設備経費や消毒用アルコールなどの消耗品の経費も多額であり、経営上非常に苦慮しております。

こうした経営状況にあっては、これから更に値上げが進むことが考えられる中で、現在でも厳しい値上分の施設負担を継続していくことは、非常に困難であります。

今後継続して利用者の生活を守り、社会福祉法人の本来目的である高齢者福祉の向上に寄与して行くためにも、今般の値上げに対する神奈川県の支援を、次により切に要望します。

【要望事項】

- 1 社会福祉法人の経営する高齢者福祉施設に対して、その社会的な使命に鑑み、今般の諸物価の値上げに対する緊急的な支援を実施すること。
- 2 新型コロナウイルス感染症の感染予防のために設置する換気設備の更新等に対し、更なる支援を実施すること。

（ 問い合わせ先  
事務局 天池  
電話 045-311-8745 ）

特別養護老人ホームにおける値上げの影響

一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会

対象品目	対象月	令和3年度	令和4年度	増加率	事業及び経営への影響の内容	実施している対応
1-電気	4・5月	2,631,883円	4,229,128円	160.7%		節電にも、限界があります。燃料調整費の高騰が要因です。液化天然ガス・石炭の高騰、円安が改善されることを願っております。
1-電気	4・5月	1,519,211円	2,571,934円	169.3%		節電等も促し効果的な使用をしているが、空調等利用者側に合わせたりもあるので限界がある
1-電気	4・5月	1,555,847円	2,161,317円	138.9%	今後の施設負担が多くなるのが見込まれる為、節電をせざるを得ない。	こまめに調節するなど、節電を心がけていますが、夏に向かい利用者・介護職員を思うと限界がある。
1-電気	4・5月	961,000円	1,117,000円	116.2%	夏に向けて懸念材料である。	節電の呼びかけを行い、使用量は減ったにもかかわらず、料金は増えてしまった。換気のこともあり、これ以上の呼びかけは難しい。
1-電気	4・5月	397,574円	482,327円	121.3%		節約はしていますが、業者によると今後、さらに値上げの予定とのことで限界を感じています。
1-電気	4・5月	807,586円	1,126,558円	139.5%		必要最低限の使用を心掛けているが、更なる節約となると利用者処遇への影響がでてしまう。
1-電気	4・5月	1,537,841円	2,119,850円	137.8%		LED照明に交換、給湯、お風呂の効果的な使用を行っているが、必要なものなので限界がある。
1-電気	4・5月	1,467,873円	1,836,741円	125.1%	施設負担となっている。	施設内の蛍光灯は長年間引いた状態である。近年の異気象もあるが、入居者の事を第1に考えながら、節電を心掛けている。
1-電気	4・5月	2,742,356円	4,130,920円	150.6%		職員一同、節電を行い、使用していない電気はこまめに消す等の対応している。
1-電気	4・5月	1,016,929円	1,378,529円	135.6%	日頃から節電に取り組んでいるが、照明や機器の利用を制限すると、ご利用者様の安全にかかわってくる。	照明の間引きは実施済み。まめに照明の入れを行う。※大きな効果は見られず。
1-電気	4・5月	1,611,107円	2,133,115円	132.4%		エアコン等の効果的な使用を行っているが限界がある
1-電気	4・5月	1,279,441円	1,945,157円	152.0%	使用量約1.6割増に対して、支払金額は5.2割増です。	節電できる部分がないか確認し、利用者に支障のない範囲で節電に努めています。
1-電気	4・5月	188,798円	265,153円	140.4%	使用量約2割増に対して、支払金額は約4割増です。	節電できる部分がないか確認し、利用者に支障のない範囲で節電に努めています。
1-電気	4・5月	217,985円	271,484円	124.5%	使用量微増に対して、支払金額は約2.5割増です。コロナ禍で換気もしながらの空調利用で節電も工夫が必要な状況です。利用者の負担額を上げることができないため施設の負担が大きくなっています。	節電できる部分がないか確認し、利用者に支障のない範囲で節電に努めています。
1-電気	4・5月	1,314,497円	1,863,922円	141.8%		こまめな節電を行っている。空調の設定温度の調整や 要らない照明は消す等 単価の上昇は対応できない4月から値上げのため、3月12(2ヶ月分27、100円) 多く勝入した

特別養護老人ホームにおける値上げの影響

一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会

対象品目	対象月	令和3年度	令和4年度	増加率	事業及び経営への影響の内容	実施している対応
1-電気	4・5月	1,155,587円	1,577,581円	136.5%		両施設において、不要な電気は消すこと、自然の光を極力生かした生活をする事、OA機器等はこまめなONOFFをする、照明は間引くなど最低限を行う、以上のような対策をとっているが、それでも電気の値上げには追いついていない。
1-電気	4・5月	587,022円	726,570円	123.8%		両施設において、不要な電気は消すこと、自然の光を極力生かした生活をする事、OA機器等はこまめなONOFFをする、照明は間引くなど最低限を行う、以上のような対策をとっているが、それでも電気の値上げには追いついていない。
1-電気	4・5月	1,530,775円	2,147,398円	140.3%	300,000円/月の増加	可能な範囲での節電
1-電気	4月	756,377円	1,103,766円	145.9%		節電
1-電気	4月	153,103円	223,901円	146.2%		節電等の対応
1-電気	4月	1,086,855円	1,459,648円	134.3%		長期契約で割引を受けているが値上がり額が上回っている。
1-電気	4月	1,122,021円	1,526,295円	136.0%	燃料調整額が6.16円上がっていることによるもの。	デマンド監視装置を付け最大デマンド値を更新しないよう電気機器を分散して使用している。
1-電気	4月	973,735円	1,441,402円	148.0%		今まで1540円/日の食費。本入所、ショートステイの1食60円の値上げ1720円で県に申請中も返答なし(6/1に提出)
1-電気	4月	1,000,000円	1,500,000円	150.0%		収入を上げていく
1-電気	4月	494,703円	641,557円	129.7%	施設負担になっている。	電気会社の検討。LED照明に交換し、日々、節電に努めているが単価を上げられたらどうしようも出来ない。
1-電気	4月	476,610円	802,055円	168.3%		エアコンの設定温度管理、証明器具の使用管理
1-電気	5月	625,336円	817,989円	130.8%		節電
1-電気	5月	288,426円	365,518円	126.7%		これだけ物価が上昇すると、節電等の工夫は以前から行っているため、生活の質を下げるにも限界を感じます。 人件費を減らすため、職員の人数を減らすか賞与を減らす以外には方法はありません。
1-電気	令和3年5月	805,544円	1,137,160円	141.2%		今まで1540円/日の食費。本入所、ショートステイの1食60円の値上げ1720円で県に申請中も返答なし(6/1に提出)
1-電気	5月	497,821円	553,303円	111.1%	施設負担になっている。	電気会社の検討。LED照明に交換し、日々、節電に努めているが単価を上げられたらどうしようも出来ない。
1-電気	5月	406,674円	655,893円	161.3%		エアコンの設定温度管理、証明器具の使用管理
1-電気	5月	264,536円	351,646円	132.9%	前年度差額 87110円 上記重油,ガス,電気全て施設負担となっている。今年度4月からの2ヶ月で光熱費は全体で494341円施設の負担が増えている状態。	こまめに電気を消す等、対策しているが単価が上がっているためで限界がある。
1-電気	5月	19,394円	40,314円	207.9%		これだけ物価が上昇すると、節電等の工夫は以前から行っているため、生活の質を下げるにも限界を感じます。 人件費を減らすため、職員の人数を減らすか賞与を減らす以外には方法はありません。

特別養護老人ホームにおける値上げの影響

一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会

対象品目	対象月	令和3年度	令和4年度	増加率	事業及び経営への影響の内容	実施している対応
2-ガス	4・5月	241,796円	363,042円	150.1%	4月単価 前年対比 42%増 5月単価 前年対比 56%増	給食委託協力会社様が創意工夫して、適切な使用CP価格の高騰、円安が改善されることを願っております。
2-ガス	4・5月	547,497円	803,212円	146.7%	プラスチックグローブやビニール袋等の石油製品の値上がりが必要なものなので今後の影響が心配	昨年度はメーカーを替えたり最安のものを探して発注したが今回の値上がりは仕方ない状況ではない。
2-ガス	4・5月	72,508円	78,942円	108.9%		節約はしていますが、業者によると今後、さらに値上げの予定とのことで限界を感じています。
2-ガス	4・5月	600,076円	1,077,454円	179.6%		必要最低限の使用を心掛けているが、更なる節約となると利用者処遇への影響がでてしまう。
2-ガス	4・5月	1,414,654円	1,948,105円	137.7%		効率の良い調理方法の実施
2-ガス	4・5月	725,915円	1,068,265円	147.2%		
2-ガス	4・5月	707,462円	909,776円	128.6%		上記同様
2-ガス	4・5月	2,114,831円	4,127,892円	195.2%		ボイラー・冷温水発生機を使用しているため、今以上節減してしまうと、利用者の生活に影響がでると考えられる。
2-ガス	4・5月	780,584円	1,034,680円	132.6%	ご利用者の入浴回数は減らせず空調もガスのため対応が困難です。	給湯の節約。まめに空調の入切を行う。※大きな効果は見られず。
2-ガス	4・5月	575,213円	928,394円	161.4%	使用量に大きな変化はないが、支払額は約5割増です。	節約できる部分がないか確認していますが、給湯・入浴・調理等必要なものなので限界があります。
2-ガス	4・5月	45,365円	61,590円	135.8%	使用量に大きな変化はないが支払額は約3.6割増です。施設の負担	節約できる部分がないか確認していますが、給湯・入浴・調理等必要なものなので限界があります。
2-ガス	4・5月	416,762円	660,058円	158.4%		無駄な使用を極力抑えているが基本料金が上がっている以上限界がある。
2-ガス	4・5月	793,137円	1,222,210円	154.1%		ガス料金については、急騰風呂の使用を工夫しているが、利用者のためのことであり、対応は限界となっている
2-ガス	4・5月	281,028円	354,931円	126.3%		ガス料金については、急騰風呂の使用を工夫しているが、利用者のためのことであり、対応は限界となっている
2-ガス	4・5月	616,904円	983,696円	159.5%	200,000円/月の増加	可能な範囲での節約
2-ガス	4月	376,485円	633,894円	168.4%		節水
2-ガス	4月	99,530円	137,318円	138.0%		節電等の対応
2-ガス	4月	176,617円	239,673円	135.7%	基本適用単価が38.76円上がっていることによる。	特別な対応を行っていない。
2-ガス	4月	440,444円	743,797円	168.9%		今まで1540円/日の食費。本入所、ショートステイの1食60円の値上げ1720円で県に申請中も返答なし(6/1に提出)
2-ガス	4月	545,593円	1,075,508円	197.1%	施設負担となっている。	ガス会社の検討。衛生面を考えると入浴回数の変更は出来ない。
2-ガス	5月	451,829円	538,839円	119.3%		節水
2-ガス	5月	225,714円	321,345円	142.4%		これだけ物価が上昇すると、節電等の工夫は以前から行っているため、生活の質を下げるにも限界を感じます。 人件費を減らすため、職員の人数を減らすか賞与を減らす以外には方法はありません。

特別養護老人ホームにおける値上げの影響

一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会

対象品目	対象月	令和3年度	令和4年度	増加率	事業及び経営への影響の内容	実施している対応
2-ガス	5月	390,973円	546,604円	139.8%		今まで1540円/日の食費。本入所、ショートステイの1食60円の値上げ1720円で県に申請中も返答なし(6/1に提出)
2-ガス	5月	533,925円	766,821円	143.6%	施設負担となっている。	ガス会社の検討。衛生面を考えると入浴回数の変更は出来ない。
2-ガス	5月	146,199円	196,915円	134.7%		厨房で毎日使用しているので、必要
2-ガス	5月	16,989円	24,187円	142.4%		これだけ物価が上昇すると、節電等の工夫は以前から行っているため、生活の質を下げるにも限界を感じます。 人件費を減らすため、職員の人数を減らすか賞与を減らす以外には方法はありません。
4-水道	4・5月	5,262,015円	5,504,331円	104.6%		最低限、利用者の生活に影響がないように、節水はしている。 夏場はクーリングタワーを使用する為、使用量が増えてしまうため、気温が下がったら、停止して対応している。
4-水道	4・5月	502,598円	556,981円	110.8%		
5-ガソリン	4・5月	199,236円	235,088円	118.0%		燃費を向上させる為、エコドライブに努めておりますが、限界があります。原油高騰、円安が改善されることを願っております。
5-ガソリン	4・5月	97,929円	123,067円	125.7%		効率的な送迎経路など、検討し行っているが、限界がある。
5-ガソリン	4・5月	84,401円	98,171円	116.3%		節約はしていますが、業者によると今後、さらに値上げの予定とのことで限界を感じています。
5-ガソリン	4・5月	13,412円	15,832円	118.0%		必要最低限の使用を心掛けているが、更なる節約となると利用者処遇への影響がでてしまう。
5-ガソリン	4・5月	1,669,594円	2,098,026円	125.7%		ディサービスやショートステイの事業縮小やコロナウイルスの利用控えによる利用者減のため、減少したと考える
5-ガソリン	4・5月	351,083円	469,175円	133.6%		契約会社と交渉はしているが、原油が高騰している為、検討段階です。
5-ガソリン	4・5月	147.94円	173.25円	117.1%	1L当たり30円近い値上げはかなり影響があり、ガソリン価格が送迎加算等に反映される訳ではないので施設の負担は大きくなっています	電話対応に変更可能な時には訪問回数を減らす、車の使用回数を減らすなどの対応をとっていますが、送迎回数を減らせないため限界があります。
5-ガソリン	4・5月	214,850円	298,745円	139.0%	特養、短期入所、通所介護×2、訪問介護、居宅介護支援、包括支援センター 計17台の公用車	使用控えは出来ず。
5-ガソリン	4・5月	135,717円	148,080円	109.1%	燃料費は施設負担となっている。 職員は節約しているが対利用者へは難しい。	給油スタンドを1円でも安価な所に変えたり、アプリ登録を職員に呼び掛け割引給油をしてもらう等の対応を行っている。
5-ガソリン	4・5月	39,116円	47,461円	121.3%	単価が140円から153円で、9%上昇している	
5-ガソリン	4月	100,000円	150,000円	150.0%		特になし収入を上げていく
5-ガソリン	4月	150,728円	165,322円	109.7%	施設負担となっている。	ディサービスやショート送迎、入居者の受診送迎などに必要不可欠なもので節約は出来ない。

特別養護老人ホームにおける値上げの影響

一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会

対象品目	対象月	令和3年度	令和4年度	増加率	事業及び経営への影響の内容	実施している対応
5-ガソリン	5月	163,796円	204,091円	124.6%	施設負担となっている。	デイサービスやショートの送迎、入居者の受診送迎などに必要不可欠なもので節約は出来ない。
5-ガソリン	5月	580,773円	856,731円	147.5%		
6-灯油	4・5月	1,119,800円	1,729,830円	154.5%		令和4年3月に地下タンクの灯油在庫を一時的に減らし、4月に例年より1回多く給油し、単価3%の節約を行った。冷房にも使用しており、更に暖房使用の季節には使用最が多くなるので、原油高騰、円安が改善されることを願っております。
6-灯油	4・5月	166,578円	200,169円	120.2%	施設負担となっている	毎日必要なものなので対応が難しい
6-灯油	4・5月	519,800円	607,500円	116.9%		給湯・入浴など日常的に利用するものなので、限界がある。
6-灯油	4・5月	1,491,600円	1,631,850円	109.4%	前年度より購入量は6.25%下がっているが、価格が9.4%上昇している。	冷暖房に関しては、支障のない範囲で温度設定等を調整しているが、感染症対策として換気を行っているため対応に限界がある。
6-灯油	4・5月	357,000円	474,430円	132.9%	ボイラー燃料として年間訳2700L消費しているの因此以上の上昇は厳しい	2015年に灯油消費量を抑えるため、業務用エコキュートを設置。削減効果は出ているが、設置費用は大きい。季節に応じてボイラー設定温度を調整している。
6-灯油	4月	1,336,000円	1,744,000円	130.5%	特に夏に多く使うので苦しい。	毎月3社から見積もりを取り比較検討している。灯油消費量が少ない4月5月の2ヶ月だけでも昨年より合計40万多く支出している。当施設の灯油はボイラー(お湯:風呂等)、冷暖房等で使用し必ず必要となるため今後はさらに多くの経費がかかることが予想される。
6-灯油	4月	300,000円	384,000.0円	128.0%		必要な熱源なので効率的な運用には限界がある。
6-灯油	5月	279,400円	367,400円	131.5%		省エネ化推進事業で令和4年度よりボイラーを灯油からプロパンガスに変更しました。
7-重油	4・5月	466,270円	572,788円	122.8%		入浴の回数は減らすことができず、節水ができる装置の導入を検討していく。
7-重油	5月	233,750円	376,640円	161.1%	前年度差額142,890円	重油はボイラーでお湯を沸かすために使用している為、必要。
8-食材	4・5月	3,660,451円	3,975,515円	108.6%	施設負担が大きく献立に苦慮している現状である。	仕入れ先との交渉、使用食材の再検討価格を比較し、変更している。
8-食材	4・5月	3,842,222円	3,980,989円	103.6%		仕入れ先と交渉、食材の見直し
8-食材	4・5月	5,448,135円	6,000,000円	110.1%		仕入れ先との交渉や新たな仕入れ先の検討。使用食材の再検討
8-食材	4・5月	4,328,312円	4,808,754円	111.1%		仕入れ先との交渉や新たな仕入れ先の検討。使用食材の再検討
8-食材	4・5月	7,116,767円	7,852,739円	110.3%		使用食材の再検討
8-食材	4・5月	1,190,000円	1,470,000円	123.5%	年間336万円増	質を下げるわけにはいかないため、特に対応していません。ご利用者に負担して頂く食費値上げを検討中。
8-食材	4・5月	1,150,979円	1,352,910円	117.5%		使用する野菜の変更等工夫していますが、限界があります。
8-食材	4・5月	192,741円	241,239円	125.2%		
8-食材	4・5月	198,574円	233,886円	117.8%	他の食材も値上がり傾向で給食費の利用者負担を上げられないため施設の負担は大きくなっています。	

特別養護老人ホームにおける値上げの影響

一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会

対象品目	対象月	令和3年度	令和4年度	増加率	事業及び経営への影響の内容	実施している対応
8-食材	4・5月	2,938,576円	3,486,291円	118.6%		・仕入れ先との価格交渉・献立（食材）の見直し・調理方法の見直し・在庫管理強化（発注コントロール）・食品ロスの低減
8-食材	4・5月	2,467,338円	2,722,626円	110.3%	代替のできない所九財が多く負担が大きくなっている	仕入れ先との交渉、納入業者の変更、新たな仕入れ先の検討
8-食材	4月	2,075,617円	2,373,232円	114.3%		食材の変更、フードロス
8-食材	4月	2,640,000円	2,673,000円	101.3%	利用者食費に転嫁できず施設負担となっている上に食材料費を上げる予定となっている。	交渉して値上げ幅を下げてもらった。
8-食材	4月	3,100,000円	3,230,000円	104.2%		特になし収入を上げていく
8-食材	5月	2,150,000円	2,370,000円	110.2%		加工品の使用と減らし、現場で仕込み調理を行う。例）カット野菜を使用しないで厨房でカットを行う。調理済食品を使用せず厨房で調理を行うなど。複数の仕入れ先から見積りを取り、安い方から購入する。
8-食材	5月	2,400,316円	2,563,403円	106.8%	現在は値上がり前に大量購入していた在庫を活用している状態。今後はさらに値上げが広がり提供する食事内容の質素化もやむを得ない。	食材の再検討、メニューの見直し。施設より持ち出し負担。 今後はこの対応だけでは難しく利用者負担となることもやむを得ない状況。
8-食材	5月	194,661円	225,057円	115.6%		これだけ物価が上昇すると、節電等の工夫は以前から行っているため、生活の質を下げるにも限界を感じます。人件費を減らすため、職員の人数を減らすか賞与を減らす以外には方法はありません。
8-食材	5月	2,306,050円	2,416,049円	104.8%		これだけ物価が上昇すると、節電等の工夫は以前から行っているため、生活の質を下げるにも限界を感じます。人件費を減らすため、職員の人数を減らすか賞与を減らす以外には方法はありません。



1. 施設の収支状況 …… 特養の黒字・赤字別

【令和2年度】施設の収支状況－黒字・赤字別

	単位	全体			参考値 R1年度 調査	参考値 H30年 度調査	
			黒字施設	赤字施設			
施設数		99	56	43	99	82	
平均定員数(特養)	人	84.43	91.77	74.88	83.91	84.11	
経常増減 差額比率	サービス活動収益対経常増減差額比率	%	0.74	5.23	-5.10	0.79	1.03
	同 (補助金を除く)	%	-0.05	4.56	-3.05	0.68	0.91
	同 (国庫補助金等特別積立金取崩額を除く)	%	-2.60	1.98	-3.57	-2.69	-2.85
費用比率	人件費比率	%	67.64	64.08	72.28	67.48	67.27
	同 (給食業務委託あり施設のみ)	%	—	—	—	—	—
	同 (給食業務委託なし施設のみ)	%	—	—	—	—	—
	業務委託費比率	%	5.89	5.80	6.01	5.61	5.37
	同 (給食業務委託あり施設のみ)	%	—	—	—	—	—
	同 (給食業務委託なし施設のみ)	%	—	—	—	—	—
	事業費比率	%	15.50	15.30	15.75	15.52	15.64
	事務費比率	%	10.90	10.50	11.44	10.87	10.61
	光熱水費比率	%	3.73	3.65	3.83	4.23	4.29
	利用者1人1日あたり光熱水費	円	594	660	508	559	550
	修繕費比率	%	0.89	0.82	0.97	1.13	1.02
	利用者1人1日あたり修繕費	円	126	125	127	150	128
	減価償却費比率	%	8.29	7.82	8.91	8.63	9.07
	同 (正味)	%	4.95	4.58	5.44	5.12	5.14
	利用者1人1日あたり減価償却費	円	1,357	1,486	1,188	1,151	1,159
	同 (正味)	円	839	926	726	689	665
給食関連 収支	食費収益対給食費比率	%	60.22	61.29	58.78	58.65	56.81
	同 (給食業務委託あり施設のみ)	%	—	—	—	—	—
	同 (給食業務委託なし施設のみ)	%	—	—	—	—	—
	利用者1人1日あたり給食費	円	972	1,087	823	838	783
サービス 活動収益 の状況	利用者1人1日あたりサービス活動収益	円	13,511	13,712	13,253	13,277	12,874
	利用者1人1日あたり食費収益	円	1,691	1,902	1,409	1,436	1,405
	利用者1人1日あたり居住費収益	円	1,809	2,216	1,266	1,471	1,385
サービス活 動収益の 状況(特 養)	利用者1人1日あたり介護料収益	円	12,361	14,023	10,196	10,156	9,906
	利用率	%	95.2	95.2	95.1	94.0	95.3
	平均要介護度		3.93	3.93	3.93	3.96	3.95
サービス活 動収益の 状況(短 期)	利用者1人1日あたり介護料収益	円	12,846	12,763	12,950	10,393	9,586
	利用率	%	79.8	84.9	73.4	83.7	82.3
	平均要介護度		3.09	3.08	3.11	3.02	2.99
事業能率 等	介護等職員1人あたり年間サービス活動収益	万円	881	930	818	1,000	845
	介護等職員1人あたり利用者数(特養+短期入所)	人	1.78	1.85	1.70	2.10	1.81
	非常勤職員割合	%	25.47	24.69	26.48	23.75	25.77

※黒字事業所…「サービス活動収益対経常増減差額比率」が0.00%以上の事業所

※赤字事業所…「サービス活動収益対経常増減差額比率」が0.00%未満の事業所

集計表中、施設数の少ない区分の値については、施設数の多い区分に比べて、当該区分に含まれる個々のデータの影響が相対的に強く表れるため、解釈には十分な注意を要する。

#### 4. 施設の収支状況 . . . 級地別

##### 【令和2年度】施設の収支状況—級地別

	単位	全体								
		1級地	2級地	3級地	4級地	5級地	6級地	7級地 その他		
施設数		99	0	0	6	18	60	10	5	
平均定員数(特養)	人	84.43	—	—	86.50	83.00	84.52	84.90	85.20	
経常増減 差額比率	サービス活動収益対経常増減差額比率	%	0.74	—	—	-3.44	-1.23	2.12	-0.28	-1.57
	同 (補助金を除く)	%	-0.05	—	—	-4.18	-2.18	1.39	-0.91	-2.87
	同 (国庫補助金等特別積立金取崩額を除く)	%	-2.60	—	—	-6.40	-4.72	-1.36	-3.37	-3.77
費用比率	人件費比率	%	67.64	—	—	67.90	70.61	66.48	68.49	68.84
	同 (給食業務委託あり施設のみ)	%	—	—	—	—	—	—	—	—
	同 (給食業務委託なし施設のみ)	%	—	—	—	—	—	—	—	—
	業務委託費比率	%	5.89	—	—	9.62	4.98	5.75	5.78	6.40
	同 (給食業務委託あり施設のみ)	%	—	—	—	—	—	—	—	—
	同 (給食業務委託なし施設のみ)	%	—	—	—	—	—	—	—	—
	事業費比率	%	15.50	—	—	14.78	14.64	15.84	15.05	16.26
	事務費比率	%	10.90	—	—	14.05	9.77	10.90	10.71	11.63
	光熱水費比率	%	3.73	—	—	4.09	3.61	3.74	3.61	3.81
	利用者1人1日あたり光熱水費	円	594	—	—	562	1,004	503	488	468
	修繕費比率	%	0.89	—	—	0.71	0.50	1.02	0.90	0.98
	利用者1人1日あたり修繕費	円	126	—	—	96	111	136	114	122
	減価償却費比率	%	8.29	—	—	9.02	9.45	7.94	8.68	6.73
	同 (正味)	%	4.95	—	—	6.06	5.96	4.47	5.58	4.52
	利用者1人1日あたり減価償却費	円	1,357	—	—	1,268	2,562	1,077	1,181	834
同 (正味)	円	839	—	—	872	1,709	609	769	567	
給食関連 収支	食費収益対給食費比率	%	60.22	—	—	54.40	59.01	61.23	63.42	53.15
	同 (給食業務委託あり施設のみ)	%	—	—	—	—	—	—	—	—
	同 (給食業務委託なし施設のみ)	%	—	—	—	—	—	—	—	—
	利用者1人1日あたり給食費	円	972	—	—	816	1,491	875	819	759
サービス 活動収益 の状況	利用者1人1日あたりサービス活動収益	円	13,511	—	—	13,881	13,557	13,560	13,512	12,313
	利用者1人1日あたり食費収益	円	1,691	—	—	1,501	2,807	1,450	1,347	1,423
	利用者1人1日あたり居住費収益	円	1,809	—	—	1,555	3,357	1,458	1,566	1,177
サービス活 動収益の 状況(特 養)	利用者1人1日あたり介護料収益	円	12,361	—	—	10,585	21,374	10,456	10,054	9,511
	利用率	%	95.2	—	—	94.6	94.1	94.8	99.0	96.8
	平均要介護度		3.93	—	—	4.05	3.96	3.91	3.94	3.82
サービス活 動収益の 状況(短 期)	利用者1人1日あたり介護料収益	円	12,846	—	—	11,154	18,624	10,093	21,586	9,823
	利用率	%	79.8	—	—	83.1	74.1	83.7	71.1	67.4
	平均要介護度		3.09	—	—	3.38	3.12	3.04	3.19	3.06
事業能率 等	介護等職員1人あたり年間サービス活動収益	万円	881	—	—	893	860	887	914	809
	介護等職員1人あたり利用者数(特養+短期入所)	人	1.78	—	—	1.77	1.66	1.81	1.85	1.80
	非常勤職員割合	%	25.47	—	—	22.30	26.46	26.08	21.52	26.47

集計表中、施設数の少ない区分の値については、施設数の多い区分に比べて、当該区分に含まれる個々のデータの影響が相対的に強く表れるため、解釈には十分な注意を要する。